

2017年度

エコアクション21 環境活動レポート



対象期間 2017年1月1日～12月31日

製作日 2018年2月14日



エレベーター押ボタン・各種部品製造

株式会社オリエンタル工業社

目 次

- 1、環境方針
- 2、環境活動計画
- 3、事業の概要
- 4、環境経営システム組織図
- 5、今期の特徴(スポットライト)
- 6、受賞歴
- 7、10年間の推移
- 8、環境目標と実績
- 9、環境目標と実績グラフ
- 10、環境関連法規への違反、訴訟の有無
- 11、環境活動計画および取組み結果の評価、次年度取組内容、全体の見直し

1.環境方針

経営理念

当社は、永年に渡って機械加工部門と、組立加工部門と、板金加工部門の全く異なる分野で技術と開発を進めてまいりました。少量短納期には加工と倉庫(少量の在庫を置く)の両立を確立し、更に、当社独自の環境に優しく災害にも強いオリジナル製品を開発し、IT経営で営業力を大いにアピールし、且つ、会社の周りには木々を植えるなど緑化運動を推進し、環境に配慮した小さくても力のあるスモールメーカーとして、日本全国の顧客に対し、「ありがとう」の気持ちを持って接しております。

行動方針

株式会社オリエンタル工芸社は、エレベーター部品製造と精密機械加工の専門分野として、環境との共生・調和への取組みを最重要課題として以下の環境保全活動を推進します。

環境保全活動

(環境保全活動とは、自然の恵みを次世代に受け継いでいくために、さまざまな環境負荷の削減に取り組んでいきます。)

1. 環境保全に関する法規制を遵守し、可能なかぎり自主基準を制定し、環境保全に取り組めます。
2. 事業活動の中で、下記の項目について重点的なテーマとして保全活動を推進し、環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に取り組めます。
 - (1) 事業活動の中で特に、二酸化炭素・廃棄物・総排水量低減の削減に取り組めます。
 - (2) 資源ごみの再資源化を図り、廃棄物量の削減に努力します。
 - (3) コピー用紙の両面使用は元より、IT業務化によるペーパーレス活動、製造工程から排出される梱包等の排出物の削減に取り組めます。
 - (4) 冷暖房時の室内温度の管理をし、休息時の電源OFFの推進をし、製造工程で使用する電気使用量の削減に取り組めます。
 - (5) 車両のアイドリングOFFを実行し、車両の保守点検作業と、安全運転を順守します。
 - (6) 近くにある得意先や協力会社には、車両を使用せず、徒歩或いは自転車で往復し、ガソリン等の削減に取り組めます。
3. 環境教育と社内広報活動を実施し、全社員に環境方針を周知徹底すると共に、取引先にも環境方針を周知し、社内外において環境保全活動の知識・認識の向上に努めます。

—この環境方針は、社内外に公表致します—

2017年11月15日改訂
株式会社 オリエンタル工芸社 代表取締役社長
杉本 亨

2.環境活動計画

① 二酸化炭素排出量・廃棄物・水の削減に取り組みます。

1) 購入電力の削減

使用しない・居ない場所での電気は消灯する事。

コンセントはこまめに抜く事。

お昼休憩と終業時間には、各自において全ての電気を消す事。

2) 灯油の削減

朝、作業時間(8時30分)の10分前に消灯する事。

昼、作業時間(13時)の10分前に消灯する事。

3) ガソリンの削減

近場は自転車を利用する事。

アイドリングの禁止。

最短距離での運転を心掛ける事。

4) 水資源の削減

水道の蛇口はこまめに止める。

5) ゴミ排出の削減

空き缶とペットボトルを分別しペットボトルのキャップを集める。

FAXなどの利用済の紙は裏面を利用する事。

裏表使用済みの紙はシュレッターにかけ、梱包ようにクッション材と利用する。

段ボール箱は再利用し、使えない物は潰して捨てる。

② その他の日常的取組

異常気象による冠水に伴う結露や錆などによる損害防止を防ぎます。

定尺板の前処理(メッキ)によって、材料のムダと運搬・人件費の削減に努めます。

緑化運動を活発化に取り組みます。

抗菌性の押ボタンとユニバーサル仕様の押ボタンなど、環境とバリアフリーを意識した製品を開発し、高齢者や身体障害者の方が安心して暮らせるように努めます。

3.事業の概要(環境活動レポートの取組の対象範囲、期間)

1. 事業者名及び代表者名

株式会社 オリエンタル工芸社 代表取締役 杉本 亨

2. 所在地

東京都大田区大森西7丁目2番5号

3. 環境保全関係の責任者連絡先

経営者 株式会社オリエンタル工芸社 代表取締役 杉本 亨
管理責任者 株式会社オリエンタル工芸社 工場長 塚野 健一
担当者 株式会社オリエンタル工芸社 事務局 高橋 佳佑
連絡先 電話 03-3763-3601 FAX 03-3763-2621

4. 事業の規模

売上高 230 百万円(昨年度 207 百万円:対前年比 11.1 %増)
従業員数 10 名
床面積 303 m²

5. 対象範囲 エレベーター部品及び各種機械加工部品の製造

6. レポート対象期間

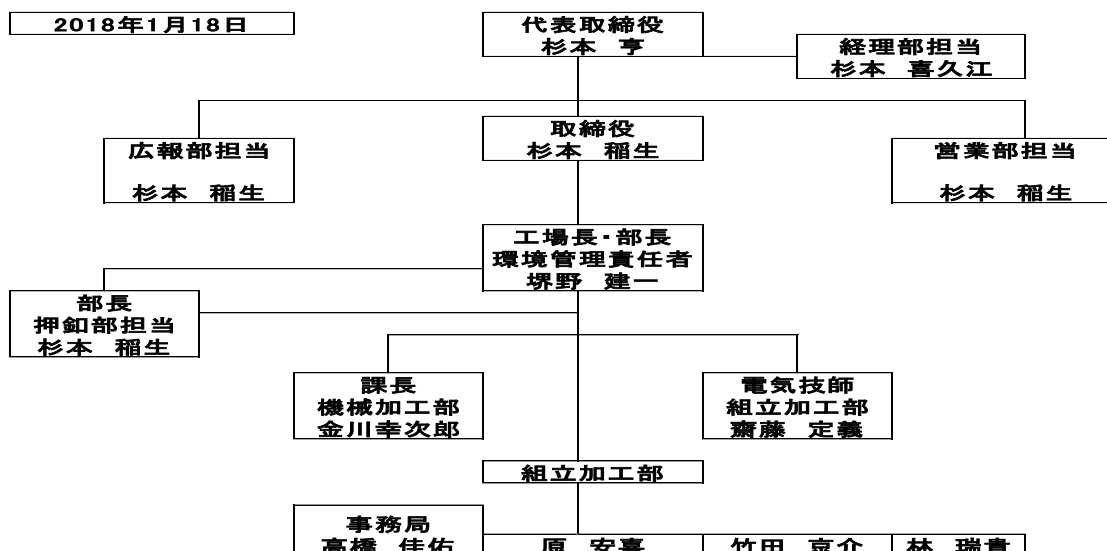
1月1日～12月31日

7. 事業内容

組立加工課 エレベーター用部品製造(カゴ操作盤・乗場押釦・点字銘板)
機械加工課 精密機械加工(ロボット部品・バルブ関係・ノズル関係)
板金加工課 エレベーター用部品製造(カゴ操作盤ボックス・乗場押釦ボックス)

4. 環境経営システム組織図

株式会社 オリエンタル工芸社の新体制



	役割・責任・権限
社長	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境経営に関する統括責任 ● 環境管理システムの実施及び管理に必要な経営資源を用意 ● 環境管理責任者を任命 ● 環境方針の設定、見直し、従業員への周知施 ● 代表者による全体の評価と見直し実施
環境管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境管理システムを構築、実施、管理 ● 環境への負荷及び取組の自己チェックの確認、承認 ● 法規制等の遵守状況をチェック ● 環境方針及び環境目標の設定 ● 環境活動実施計画および実績の確認・集計・評価 ● 問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置 ● 環境活動の取組結果の代表者への報告 ● 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
環境管理 担当者	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境経営システム運営のすべての事務 ● 環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告 ● 「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告 ● 環境活動計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告 ● 文書及び記録の管理保管 ● 従業員に対する教育訓練の実施 ● 特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録 ● 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ● 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 今期の特徴(スポットライト)

- 1月30日 東京都教育委員会よりデュアルシステムの推進により表彰されました。
- 2月3日 大田区優工場の表彰式に出席致しました。
- 3月1日 週刊誌「Biglif21」3月号に当社の記事が掲載されました。
- 3月9日 日刊工業新聞に当社の新製品の記事が掲載されました。
- 3月31日 モノづくり応援隊 in 大田区の第12報に当社の記事が掲載されました。
- 4月13日 エコアクション21の更新審査にて認証されました。
- 5月25日 岐阜県高山市立松倉中学校の生徒たちによる企業訪問(工場見学)
- 6月12日 インターンシップで、地元の高校から生徒を受け入れる事にしました。7月7日まで。
- 7月7日 大田の工匠Next Generation(優秀技術者表彰)に当社の堺野君が選ばれました。
- 7月7日 大田区展示商談会に猫の肉球ボタンを製作し、出展致しました。
- 7月18日 経産省「2017年地域未来索引(未来挑戦部門)」大田区の推薦により応募しました。
- 8月2日 8月2日～8月13日までグランディオ蒲田 3階東西連絡通路(蒲田駅ビル)にて当社の製品が展示されました。
- 8月9日 「エコアクション21」で10年連続での更新により表彰されました。(産業プラザpio)
- 8月10日 ソフトバンク社より同社ロボット(pepper君)の相手として弊社製品を製作しました。
- 9月9日 9日10日と町内のお祭りがあったので寄付をしました。
- 10月5日 幕張メッセにマイクロソフト社の展示会に行ってきました。当社の製品が展示されたので。
- 10月31日 第21回環境コミュニケーション大賞 環境活動レポート部門に応募しました。
- 11月5日 パッケージエアコンを新規交換致しました。(パナソニック PA-P112K4XN2)
- 11月6日 「環境人づくり企業大賞2017(環境人材育成に関する先進企業表彰)」に応募しました。
- 11月13日 インターンシップで、地元の高校から生徒を受け入れる事にしました。
- 11月10日 「特定非営利活動法人 東京城南環境カウンセラー協議会主催」の「2017年度内部環境監査講習会プログラム」に1名参加しました。
- 11月17日 「生産現場の見学受け入れをお願いします(大田の観光にぎわい創出事業補助金)」に応募しました。
- 11月28日 地元の「大森第三小学校」の3年生90人が工業見学にきました。
- 12月22日 経産省「2017年地域未来索引(未来挑戦部門)」に選定されました。
- 12月22日 当社のホームページに「エコアクション21」を載せました。

6. 受賞歴

- 1998年 8月1日 菱電エレの「問題意識と改善意欲の件」で表彰される。
- 2001年 11月15日 大田区の「優工場」に認定、合わせて総合部門を受賞。
- 2007年 4月13日 環境省の「エコアクション21」に認証される。
- 2008年 5月28日 経産省の「元気なモノづくり中小企業300社」を受賞。
- 2009年 10月8日 大田ブランドの「ブランドPRコンテストで2位」を受賞。
- 2011年 2月3日 大田区の「中小企業新製品・新技術コン」で奨励賞を受賞。
- 2014年 2月24日 中小企業経営力大賞の「IT経営実践認定証」を受賞。
- 2014年 2月25日 東京都の「経営革新計画の承認」を受賞。
- 2014年 10月18日 東京都産業労働局の「輝く技術・光る企業vol.12」に載りました。
- 2016年 10月6日 税理士法人無から「4年連続増収増益」で表彰されました。
- 2016年 11月21日 大田区の「優工場」に認定、合わせ総合部門を受賞しました。
- 2017年 1月30日 東京都教育委員会よりインターシップ(就業体験)で受賞しました。
- 2017年 7月7日 大田の工匠(優秀技術者表彰)に堺野君が受賞しました。
- 2017年 8月9日 「エコアクション21」より10年連続での更新により受賞致しました。
- 2017年 12月22日 経産省「2017年地域未来索引(未来挑戦部門)」に認定されました。

得意先企業の各年ごとの「感謝状・努力賞・表彰状」は除きます。

7. 10年間の推移

「エコアクション21」に認証されてから10年

2006年に「エコアクション21」の認証・登録を受けてから早いもので10年が経ちました。お蔭をもちまして10年表彰を頂きました。誠にありがとうございました。

私は、「質素・儉約・もったいない」を親から叩き込まれて育ち、それを教訓にして事業をはじめました。そして得意先の環境への要望があり、それに世間の環境への動きもあり、もちろん私の気持ちもあって「エコアクション21」に認証・登録をいたしました。

「エコアクション21」に認証・登録を受けてからは右も左も分からぬまま、あっという間もなく10年が経ってしまったような気がします。気が付いてみれば、基本的なエネルギー（東京電力・ガソリン・東京ガス・灯油）の年間に置ける削減は一生懸命に取り組んできたように思いますが、むこう10年間に渡っての長期な計算に基づく削減は行っていなかったように思います。

今年は、むこう10年間に消耗してきた数字（使用量）は総売上に比例しており、簡単に表に表わして比較を検討する事は出来ませんが、少しでも使用量が削減出来るように検討してみたいと思っております。

ただ、当社の歩んできたこの10年間は、数年に渡ってのリーマンショックがあり、未曾有の東北大震災があり、そして経営的には当時一番売り上げがあった「ABB株式会社」との取引停止があり、更には「SESエレベーター株式会社」からの注文が増えるなど単純に計算が出来ない部分があるのも事実です。

今年の7月に10年表彰を頂いた時に何社かのプレゼンテーションがあり、そして頂いた書類の中に長期的に参考になりそうな書類があり、それらを利用させてもらおうと共に新たな気持ちで再出発したいと思っております。

2017年度の後半には、数件のイベントがあり、弊社としても参考になる部分が非常に多いようなので、随時参加するように致しました。

内部環境監査講習会（2017年11月10日）に参加しました。

それと共に「第21回環境コミュニケーション大賞・環境活動レポート」の応募する事にしました。

「化学物質使用状況及び現況報告書」を大田区環境清掃部環境対策課 環境調査指導担当に提出致しました。

「環境 人づくり企業大賞2017」に応募しました。

8.環境目標と実績

1. 環境目標

2018 年度目標及び中長期目標(2016 年-2018 年)は、以下の目標を掲げ環境活動に取り組みを行なっております。

エネルギー・資源の削減

項目	目標
1.二酸化炭素排出量	・2017 年度実績を目標とする。 ・中長期目標、各前年度比実績並を目標とする。
2.廃棄物排出量の把握	・産業廃棄物はゼロとし、一般廃棄物は、重量把握の実施を行い 207 年度実績を目標とする。 ・中長期目標は、各前年度比実績並を目標とする。
3.総排水量の削減	・2017 年度実績を目標とする。 ・中長期目標は、各前年度比実績並を目標とする。
4. 化学物質使用量の管理	・化学物質含有製品の在庫量を 18L 前後に抑制管理を行う。 ・中長期目標は、毎年 2 回安全データシート(SDS)教育を行う。
5. グリーン購入の促進	・文具類、段ボール等を中心に、環境配慮品を重点使用していく。 ・中長期目標は、現状調査し 2018 年に 6 %アップする。
6. 環境に配慮した取り組み	・機能性エレベーター部品の開発・改良に継続取り組みを行う。 ・中長期目標は、毎年 2 件の新規案件を実現する。

2. 実績(環境負荷量)と評価

2017 年度実績(17 年 1 月～17 年 12 月)、2015 年度実績及び、2016 年度実績の環境負荷量は以下の通りである。

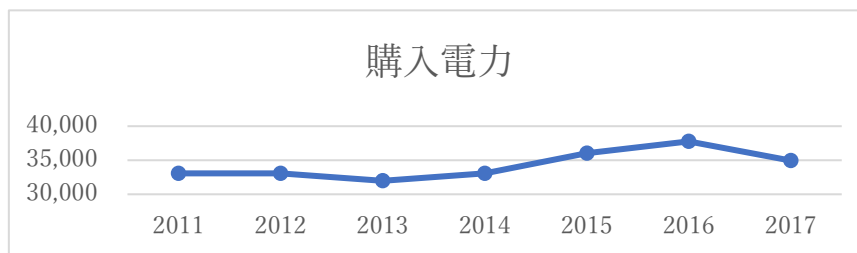
		2015 年 度実績	2016 年 度実績	2017 年度 目標	2017 年度 実績	評 価
二酸化炭 素排出量	① 購入電力(kg-CO ₂)	13615.9	14275.5	14275.5	13215.2	○
	②灯油(kg-CO ₂)	448.5	448.5	448.5	313.9	○
	③都市ガス(kg-CO ₂)	255.1	183.4	183.4	309.9	×
	④ガソリン(kg-CO ₂)	1592.8	1720.8	1720.8	1684.7	○
	①+②+③+④(kg-CO ₂)	15912.3	16628.4	16628.4	15523.9	○
	売上当りの排出量	74.15	74.01	74.01	67.49	○
廃棄物総 排出量	総廃棄物量(t) 一般	98 袋	137 袋	137 袋	148 袋	×
総排水量	総排水量(m ³)	330	323	323	318	×
	売上当りの排出量	1.53	1.56	1.56	1.38	○

※購入電力の温室効果ガス排出量の係数は 0.378(kg-CO₂/kWh)を使用しました。

※2017 年度も 2015 年度と同様に廃棄物総排出量は、1 袋/70L です。

9. 環境目標と実績グラフ

年度	購入電力	ガソリン	灯油	都市ガス	二酸化炭素排出量(kg-CO2)
2011	33,064	776.47	72	141	14,778
2012	33,064	845.69	108	146	15,039
2013	31,976	691.5	144	135	14,336
2014	33,064	1029.5	126	140	15,497
2015	36,021	686.07	180	121	15,912
2016	37,766	741.21	180	87	16,628
2017	34,961	725.65	126	147	15,524



10. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境法規内容の変更のチェック及び遵守状況の見直しを定期的に行っております。

その結果、環境関連法規への違反、訴訟はありません。

なお、関係当局よりの違反、訴訟等の指摘は、創業以来 1 度もありません。

* 各関連法規は 2 月 10 日に確認致しました。

法規則名	規制事項	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	保管の基準の遵守	現場確認 問題なし	2 月 10 日
消防法	許可及び届出の実施 貯蔵、取扱いと施設の遵守 消火器の設置	現場確認 許可の確認 届出の確認	2 月 10 日
東京都環境基本条例 第 6 条	東京都の定めを遵守し環境の保全に努める	現場確認 問題なし	2 月 10 日
大田区廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 第 8・14-21・31-45 条	大田区の定めるごみ収集日、分別法に合わせ遵守する。	収集日・分別法の事務所内の掲示 問題なし	2 月 10 日
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 第 68 条、第 136 条	騒音・振動の発生を東京都の定める基準値以下とすること。	現場確認測定 問題なし	2 月 10 日
省エネ法	① 電気使用量の削減 ② 燃料の削減	EA21 取組みの実施	2 月 10 日
騒音規制法 大田区環境部	せん断機の騒音確認	現場確認 問題なし	2 月 10 日
振動規制法 大田区環境部	せん断機の振動確認	現場確認 問題なし	2 月 10 日
東京都CO2排出量規制 電気、燃料使用量の削減	EA21 取組みの実施	現場確認 問題なし	2 月 10 日
フロン排出抑制法	エアコンの簡易点検(3ヶ月毎)の実施	現場確認 問題なし	2 月 10 日

11.環境活動計画及び取組結果の評価、次年度の取組内容、全体の見直し

目的：環境マネジメント報告書に基づきシステムの有効性について全体の評価と見直しを行う。

頻度：年 1 回(2018 年 2 月 7 日実施)

会議参加者：代表取締役、各担当者

記録：この記録は、環境記録として保管する。

二酸化炭素排出量

2017 年度は、前年度比で二酸化炭素排出量が約 6.6%低減した。内訳を見ると、電力 7.4%減、灯油 30%減、都市ガス 31%増、ガソリン 2.1%減である。

今年度は、社内運動案を徹底して行ったことで二酸化炭素排出量が低減したと考えられる。

項目の中では、特に灯油の低減が大きい成果を上げた。

灯油に関しては、2 階の休憩室に設置している暖房器具が対象となる。朝の出勤後、作業時間(8 時 30 分)の 10 分前に消灯する。昼の休憩後、作業時間(13 時)の作業開始の 10 分前に消灯することを徹底したことが低減の要因と考えられる。

都市ガスに関しては、昨年前半の使用量が多く、後半は例年並みで原因については把握できていない。

ガソリンに関しては、近場で品物が小さいものであれば自転車を利用することを徹底しているが、仕事量の増加に伴い協力会社に回る機会が多くなっていることが増加の要因として考えられる。

全体の売上当たり二酸化炭素排出量は、前年比 6.6%減少し、環境効率指標は良好となっております。2018 年度は、全体的な数値を少しでも下げられるように、社員一同積極的に努めて参ります。

廃棄物排出量

2015 年度より、1 袋/70L の物を 1 個としてカウントしている。これは、見た目でごみの量が分かりやすい。2017 年度は、前年度 145 袋に対して 148 袋とやや増加している。

各自梱包材として紙や袋の再利用などを進めているが製造が順調に伸びたことも原因と考えられる。

2018 年度も昨年同様、コピー済みの用紙の裏面使用、梱包材として紙の再利用を行う等、廃棄物取扱手順にもとづき、今後も徹底していきたい。

総排水量

2017 年度は、全員で節水への取組みを実施したが前年比 5.0% 増加致しました。

2017 年度から社員が一人増えたことによる水の使用機会の増加が考えられます。今後も全員で工場内節水を意識し取り組んでまいります。

化学物質使用量

2017 年度は、化学物質を含む製品に関し、これまでの 1 斗缶在庫を継続しており、残量が少なくなり次第、補充を行っております。この管理手法により、日常的に守られていると評価しております。

グリーン購入

2017年度もグリーン購入の促進を目標に掲げ、名刺、封筒、コピー用紙の購入を再生紙の物へ変更してまいりました。社内の意識も従来に増し高まっていると判断しております。

2018年度は、文具・消耗品等を主体に現状を把握し、情報収集を図り、エコマーク等環境ラベル製品を優先的に購入していきたいと思っております。

環境に配慮した取り組み

2017年度は、本業のエレベータボタン分野に於きまして、機能性の高い新製品開発・研究、改良等に注力して参りました。特に、社会から求められる安心・安全性を有し、LED発光をベースとしたユニバーサル凸型押ボタン、抗菌性ボタン等の開発に積極的に取り組み、キャラクター、「ボタンちゃん」と共に、市場に提供して参りました。

2018年度では、お客様のニーズを踏まえ、さらに改良を進め、より充実した機能を有する製品開発の取り組みに注力してまいります。

2010年に雨水貯水槽を大田区の補助を受けて設置しています。敷地内緑化の維持のため雨水利用を継続してまいります。

次年度の取組内容

2018年度に関しては、販売・生産活動の拡大基調下、各目標項目の達成のため、2015年度の環境活動施策をベースに、上記各項に記載した活動を粘り強く遂行し、一層の取組み強化を図ってまいります。

上記の評価結果を踏まえ、環境方針、環境目標、環境活動計画及び環境経営システム等の変更をする必要性はないと判断します。